

水稻生育速報

令和2年7月20日
長岡農業普及指導センター

コシヒカリ定点調査ほの生育状況（7月20日現在、管内7か所平均）

草丈	: 82 cm	指標値比	102 % = 並
茎数	: 406 本/m ²	指標値比	103 % = 並
葉数	: 12.7 葉	指標値差	+ 0.9 葉 = 早い
葉色	: 34.6 (SPAD 値)	指標値差	+ 1.1 = やや濃い

- 葉色は、指標よりやや濃いですが、平場を中心に急速にさめてきている。
- 幼穂の伸長速度がやや遅い。1回目の穂肥適期を迎えつつある。

今後の管理

1 穂肥を適切に施用する。飽水管理を続ける。

(1) コシヒカリ ---- 1回目の穂肥適期を迎えつつある（ほ場間差大）

- ア 葉色が指標値より濃い場合、1回目の穂肥施用は慎重に判断する。その後、葉色が指標値より淡くなった場合は、速やかに穂肥を施用する。
- イ 葉色が指標値並で、まだ1回目穂肥を施用していないほ場は、幼穂長が1 cm になったことを確認してから施用する。
- ウ 葉色が淡く (SPAD値 30 以下) 1回目穂肥が未施用の場合は、ただちに施用する。
- エ 基肥一発栽培でも、葉色が急速にさめて出穂期までにSPAD値で 33 以下になると予想される場合は、出穂 10 日前までに穂肥を施用する。

(2) 晩生品種（新之助、あきだわら 等）

おおむね幼穂形成期となっている。

1回目は穂肥を品種に合わせた時期に遅れずに施用する。

2 葉いもち防除とカメムシ防除を徹底する。

- (1) 葉いもちの発生が各地で確認されている。発生を確認したらただちに防除を行う（コシヒカリBLで少発生の場合は除く）。
- (2) カメムシ類による斑点米の多発生に関する注意報が発表されている。剤型に応じた適期の薬剤防除を実施する。また、農道・畦畔の除草及び水田内雑草の除去を徹底する。

定点調査ほ場生育調査結果（7月20日現在）

※指標値は5月10日移植を想定

品種	地点名	移植日	(参考) 前年 移植日	草丈			茎数			葉数			葉色 (SPAD値)		
				本年 (cm)	前年比 (%)	指標比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	指標比 (%)	本年 (葉)	前年差	指標差	本年	前年差	指標差
こしいぶき	長岡市乙吉町	5/10	5/9	76	95	97	475	81	119	13.1	± 0	0.7	37.0	▲2.1	1.0
	※ こしいぶき平均	-	-	80	106	103	394	87	98	12.8	0.1	0.4	38.4	▲0.3	2.4
コシヒカリ	長岡市乙吉町	5/13	5/15	79	99	96	400	77	105	12.5	0.4	0.6	33.7	▲1.3	0.7
	長岡市菅畑 (栃尾)	5/17	5/22	78	113	96	496	98	138	12.4	0.4	0.8	33.1	▲3.8	0.1
	長岡市小国町二本柳	5/13	5/13	87	110	106	358	64	90	13.9	1.0	2.3	41.5	4.2	8.0
	長岡市岩田 (越路)	5/9	5/9	87	105	110	394	109	96	13.3	0.7	1.4	37.1	0.9	3.1
	長岡市寺泊京ヶ入	5/18	5/12	78	111	99	429	88	105	11.6	1.0	▲0.3	34.1	4.8	0.1
	長岡市中条北 (中之島)	5/6	5/7	79	105	99	386	93	94	12.5	0.4	0.6	26.7	▲5.4	▲6.3
	小千谷市鴻巣	5/14	5/16	83	108	105	379	91	100	12.6	▲0.2	1.1	36.3	▲0.4	2.3
	コシヒカリ 平均	5/12	5/13	82	107	102	406	87	103	12.7	0.5	0.9	34.6	▲0.1	1.1
	※※ 平場コシ平均	5/11	5/10	81	105	101	402	90	100	12.5	0.6	0.6	32.9	▲0.3	▲0.6
※※ 中山間コシ平均	5/14	5/17	83	110	102	411	84	108	13.0	0.4	1.4	37.0	± 0	3.5	

※ こしいぶき平均：管内6か所のJA・普及指導センター調査ほ

※※ 平場コシ：長岡市乙吉・岩田・寺泊京ヶ入・中条北の4か所

中山間コシ：長岡市菅畑・小国町二本柳・小千谷市鴻巣の3か所